

令和2年度(第75回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 該当なし	-
	(関西参加公演の部) 該当なし	-
優秀賞	(関東参加公演の部) 有限会社名取事務所	「少年Bが住む家」の成果
	(関東参加公演の部) 株式会社文学座	文学座公演「五十四の瞳」の成果
	(関西参加公演の部) 宝塚歌劇団 月組	宝塚歌劇 月組公演「WELCOME TO TAKARAZUKA 雪と月と花と」 「ピガール狂騒曲」の成果
	(関西参加公演の部) 瓦照苑	照の会 ちかの会 大阪公演「蝉丸 替之型 琵琶之会釈」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 高野 菜々	音楽座ミュージカル「SUNDAY(サンデイ)」における演技
	(関西参加公演の部) 原田 諒	宝塚歌劇 月組公演における「ピガール狂騒曲」の脚本・演出

音楽部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 藤本 昭子	「第17回藤本昭子演奏会」の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	-
優秀賞	(関東参加公演の部) 竹本 越孝	「第18回竹本越孝の会」の成果
	(関西参加公演の部) 公益財団法人川西市文化・スポーツ振興財団	第29回みつなかオペラ「満仲～美女丸の廻心」の成果
	(関西参加公演の部) 菊寺 智子	「菊寺智子 三絃リサイタル」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 上江 隼人	「上江隼人 バリトン・リサイタル 2020」の成果
	(関西参加公演の部) 川崎 貴久	「川崎貴久 尺八ソリサイタル～千態万様～」の成果

舞踊部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 該当なし	-
	(関西参加公演の部) 該当なし	-
優秀賞	(関東参加公演の部) 東京バレエ団	東京バレエ団 モーリス・ベジャール振付「M」の成果
	(関東参加公演の部) 藤間 紋	「紋の会」の成果
	(関西参加公演の部) 京都芸術大学舞台芸術研究センター	「市川猿之助 藤間勘十郎 春秋座花形舞踊公演」の成果
	(関西参加公演の部) 舞踏カンパニー倚羅座	今貂子舞踏公演「金剛石 - Diamond - 」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 三東 瑠璃	「Where we were born」の成果
	(関西参加公演の部) 吉村 奈尾	「かりがねの会」の成果

大衆芸能部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 京山幸枝若	「京山幸枝若独演会」の成果
	(関西参加公演の部) 林家 染二	「林家染二独演会」における「中村仲蔵」の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) 桂 竹丸	「桂 竹丸 落語会」の成果
	(関西参加公演の部) 月亭 文都	「第24回月亭文都独演会」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 澤 雪絵	「Soul of 浪花節 澤雪絵の会」の成果
	(関西参加公演の部) 笑福亭 喬介	「おたから喬介」の成果

令和2年度(第75回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	日本放送協会	スペシャルドラマ「ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～」
優秀賞	株式会社CBCテレビ	「スナイパー時村正義の働き方改革」
	関西テレビ放送	U-NEXT presents「あと3回、君に会える」
	日本放送協会	「完本 怪談牡丹燈籠」

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	株式会社新潟放送	BSNスペシャル「芸術の価値 舞踊家金森穰16年の闘い」
優秀賞	関西テレビ放送	「ザ・ドキュメント 裁かれる正義 検証・揺さぶられっ子症候群」
	日本放送協会	BS1スペシャル「レバノンからのSOS ～コロナ禍 追いつめられるシリア難民～」
	日本放送協会	NHKスペシャル「アウシュビッツ 死者たちの告白」

ラジオ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(ドキュメンタリーの部) 南海放送株式会社	「感染 - 正義とは何か - 」
優秀賞	(ドラマの部) 株式会社エフエム東京	「TOKYO FM特別番組 Positive ～コロナとホテルとラインチャット～」
	(ドラマの部) 日本放送協会	FMシアター「ほぞ」
	(ドキュメンタリーの部) 日本放送協会	ラジオ特集「虐待された少女たちの“その後”」

レコード部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	公益財団法人日本伝統文化振興財団	「雪墨 YUKISUMI / 藤本昭子 佐藤允彦」
優秀賞	株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ	「バッハ・シーケンス / 須川展也」
	有限会社コジマ録音	「アイヴズ: ヴァイオリンとピアノのための4つのソナタ / ROSCO」
	山田 岳	「melodia」

## 令和2年度(第75回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) 該当なし	-	-
	(関西参加公演の部) 該当なし	-	-
優秀賞	(関東参加公演の部) ゆうげんがいしやなとりじむしょ 有限会社名取事務所	しょうねん 「少年Bが住む家」の成果	韓国の女性劇作家イ・ボラム氏の戯曲を眞鍋卓嗣が演出。親友を殺してしまった14歳の少年と加害者家族が社会から孤立する闇を描き、少年の犯罪と再生をテーマに罪と罰、赦しの問題に肉迫した。日本の家族に置き換えても起こりうる普遍的な作品で、登場人物の葛藤をすくい取る丁寧な演出とリアルな体温を感じさせる俳優の演技で緊迫感のある舞台を創出した。
	(関東参加公演の部) かぶしきがいしやぶんがくざ 株式会社文学座	ぶんがくざこうえん 文学座公演「五十四の瞳」の成果	瀬戸内海の小島にある朝鮮学校を舞台に教師、卒業生とその家族が立場の違いから時にぶつかり合いながらも我が道を模索して懸命に生きる姿を1948年から20年にわたって描き出した。日本の戦後を小さな島に凝縮させる作劇のうまさと松岡依都美、頼経明子、たかお鷹、山本道子ら俳優の個性を引き出す演出の冴えを感じた。
	(関西参加公演の部) たからづかかげきだん 宝塚歌劇団 月組	たからづかかげき つきくみこうえん 宝塚歌劇 月組公演「WELCOME TO TAKARAZUKA 雪と月と花と」「ピガール狂騒曲」の成果	“雪月花”をテーマにした華やかな日本もののレビューと、シェイクスピア原作「十二夜」をベースに舞台を20世紀初頭のパリのレビュー界に置き換えたミュージカル作品の2本立て。歌舞伎界の人間国宝・坂東玉三郎が宝塚歌劇を初監修したレビューは、植田紳爾が演出を手掛け、日本舞踊と洋楽の融合、明るさと暗闇を使った印象的な場面を統率の取れた踊りで魅せた。芝居も原作を卒なくアレンジし軽快でコミカルな作品となった。ショーと芝居の比重もバランスよく出来栄も見事。第106期生のお披露目も舞台に華を添えた。
	(関西参加公演の部) がしやうえん 瓦照苑	てらす かい 照の会 ちかの会 大阪公演「蝉丸 替之型 琵琶之会釈」 の成果	盲目ゆえ逢坂山に遺棄される蝉丸。蝉丸の謡は、悲嘆さの下に、来世を頼む明るさを響かせた。ワキや狂言は、淡々とした演技で蝉丸の演技を引立てた。大小の鼓は、彷徨する逆髪の登場を物狂らしく彩った。笛や地謡は、逆髪と蝉丸が浄化されてゆく流れを作った。負の運命を悲嘆せず、清々しく受け入れるさまが、作品全体にわたって表現された。
新人賞	(関東参加公演の部) こうの なな 高野 菜々	おんがくざ 音楽座ミュージカル「SUNDAY(サンデイ)」における演技	理想的な家庭を築いたと自負する女性ジョーンが、旅先の出会から自らの人生に向き合い、その真実に目覚める姿を、心の奥底を焙り出す確かな演技、圧倒的な歌唱力で演じ切った。これまで薄幸の少女などの役が多かったが、成人した子を持つ人妻という新たな役柄に挑戦。令和のミュージカル界を牽引することを期待したい。
	(関西参加公演の部) はらだ りょう 原田 諒	たからづかかげき つきくみこうえん 宝塚歌劇 月組公演における「ピガール狂騒曲」の脚本・演出	シェイクスピア喜劇「十二夜」の枠組みを、ベル・エポックのパリのレビュー界に巧みに落とし込んだ。主演男役が二役で挑んだ兄妹をはじめ、レビューを取り巻く人物たちの軽妙な演技を十分に引き出した演出が印象に残る。宝塚歌劇の源流にあるレビュー文化に深い敬意を払いつつ、自立するヒロインの造形に現代性を込めた脚本も高く評価したい。

## 音楽部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) 藤本 昭子	「第17回藤本昭子演奏会」の成果	地歌箏曲における屈指の名曲「残月」と「八重衣」のみによるプログラムで、藤本昭子が真価を發揮した。自らの歌・三弦を核に、曲ごとに異なる箏と尺八の助演者を配し、それぞれの作品の魅力を色鮮やかに描き出した。ことに二代米川文字を交えた「八重衣」は歴史的名演というべきで、藤本の揺るぎない姿勢と実力を印象づけるものとなった。
	(関西参加公演の部) 該当なし	-	-
優秀賞	(関東参加公演の部) 竹本 越孝	「第18回竹本越孝の会」の成果	「西鶴と近松」というタイトルのもと、鶴澤津賀寿が新たに曲付けした西鶴作(曆)の二段目・三段目と近松作(国性爺合戦)「楼門の段」をとりあげて、浄瑠璃の歴史に意欲的に取り組んだ。(曆)では節事の魅力を追求し、(国性爺合戦)では、月明かりのなかでの親子の対面と緊迫した状況を、自身の声質と表現の特徴を生かして見事に語り描き、観客の心をつかむ芸の力を示した。
	(関西参加公演の部) 公益財団法人 川西市文化・スポーツ振興財団	第29回みつなかオペラ「満仲～美女丸の廻心」の成果	みつなかオペラは、地元川西市の民話に基づく景山伸夫のオペラ「満仲～美女丸の廻心」の再演を通して、創作オペラの醍醐味と楽しさを存分に味あわせてくれた。それは長年オペラ制作で培ってきた劇場の総合力の賜物であり、優れた上演の成果は優秀賞に値する。
	(関西参加公演の部) 菊寺 智子	「菊寺智子 三絃リサイタル」の成果	既に上方舞の地方として超売れっ子の面目躍如たる演奏会であった。抜群の歌唱力と透明感のある声質を生かしたプログラムで構成。「浪花十二月」ではツレ弾きの華麗なバチさばきと相まって客席を市井の世界に誘った。後半は一転、端歌物の名曲「ぐち」と「ゆき」で女心の悲哀さを切々と謳い上げ、その描写力で聴衆を魅了した。今後間違いなく上方の地歌界を牽引していく逸材である。
新人賞	(関東参加公演の部) 上江 隼人	「上江隼人 バリトン・リサイタル 2020」の成果	上江隼人は、得意とするヴェルディのオペラ・アリアのみで構成された意欲的なプログラムを歌いきり、その豊かな表現力、明晰なディクション、品格あるスタイル感で、今後の日本のオペラ界の屋台骨を支えていく実力を持つバリトンであることを示した。
	(関西参加公演の部) 川崎 貴久	「川崎貴久 尺八ソロリサイタル～千態万様～」の成果	20世紀後半に隆盛を極めた現代邦楽における初期の3曲、中期の1曲と、異なった視点による21世紀の尺八音楽1曲を並べた意欲的なプログラム。尺八独奏のために作られた音楽の源流を虚無僧の本曲に求めつつ、音楽様式と表現技法の変遷を、確かな演奏技術によって辿り、尺八本曲の未来に様々な可能性があることを示した。

## 舞踊部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) 該当なし	-	-
	(関西参加公演の部) 該当なし	-	-
優秀賞	(関東参加公演の部)  とうきょう バレエ だん 東京バレエ団	とうきょう バレエ だん モーリス・ベジャール 振り付け「M」の成果	20世紀バレエの巨匠モーリス・ベジャールが、三島由紀夫の作品と生涯をモチーフとして東京バレエ団のために創作した大作の再演。10年ぶりの再演で主要な役がほぼすべて入れ替わったが、演技の高い水準を維持し、バレエ団として作品を見事に受け継いで、三島の没後50周年を記念する上演を成功させたことが高く評価された。
	(関東参加公演の部)  ふじまもん 藤間 紋	もん かい 「紋の会」の成果	自身の振付による奏風楽『千代女四季』が高い評価を得た。同作は加賀千代女の句にその人生を重ねたもの。二部構成により「夏の森」では女の一人旅と旅先の風物や風情を、「冬の雪」では孤独の身となり、再び俳諧の道に戻る姿を的確に描き、千代女の人生の苦悩と心情をよどみなくまとめあげた。技術の確かさが感じられる端正な舞台であった。
	(関西参加公演の部)  きょうとう げいじゅつ だいがく 京都芸術大学 ぶたい げいじゅつ けんきゅう センター 舞台芸術研究センター	いちかわ えんの すけ ふじま かんじゅうろう しゅんじゅうざ はな が た ぶ よう こう えん 「市川猿之助 藤間勘十郎 春秋座花形舞踊公演」の成果	市川猿之助と藤間勘十郎が、澤瀉屋の家の芸である三作品に挑んだ公演。『檜垣』では勘十郎が檜垣の老女の情念を描き、『黒塚～月の巻より～』では猿之助が無心に踊る老女岩手を体現した。『悪太郎』では悪太郎の猿之助と智蓮坊の勘十郎が、新演出でユーモラスな作品世界を明朗に展開。両者が力量を発揮し、秋の情緒が感じられる完成度の高い舞台を繰り広げた。
	(関西参加公演の部)  ぶたう 舞踏カンパニー 倚羅座	いまだん こぶとう こうえん こんごうせき 今貂子舞踏公演「金剛石 - Diamond - 」の成果	舞踏には土方巽以外に明瞭な技法がないとの認識があるが、今貂子は固有の技法を確立しつつあるように見受けられた。細胞すべてが「成る」に参加し、そこに立ち続け「金剛石」に込めた「屈服しない」「硬質」等のイメージを展開。動き・身体・空間・音・照明等が一体となり「虚のリアル」に満ちた舞台となった。
新人賞	(関東参加公演の部)  みつとう とうり 三東 瑠璃	「Where we were born」の成果	人間の存在そのものである身体を凝視し、追求する作品に挑んできた三東瑠璃が、アンサンブルに振付けた本作で高い成果をもたらした。ダンサーたちが群れとなり、塊となって生命の根源を探ろうとする振付を考案し、緊張感みなぎる完成度の高い公演に結実させた指導力、演出力は高く評価できる。今後益々の活躍が期待できる。
	(関西参加公演の部)  よしむら なお 吉村 奈尾	「かりがねの会」の成果	二つの演目「寿三番叟」「珠取海士」に「水」の糸を通した舞い手は、穏やかであれ激しくであれ、水が流れるように気持ちと動きを持続させていた。跳ねや溜めを熟す筋力、緩急や高低差を操る技術力、情景や情動を起す表現力もさることながら、吉村奈尾の舞いの独特な質感、見る者の体に残るその妙な感覚の響きは、新しい舞踊世界のあらわれをも予感させる。

## 大衆芸能部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) きょうやまこうしわか 京山幸枝若	「きょうやまこうしわかどくえんかい 京山幸枝若独演会」の成果	上方浪曲の第一人者である幸枝若が、実父で師匠の初代幸枝若から受け継いだお家芸にさらなる磨きをかけ、東京の舞台上で披露した。軽快な幸枝若節で演じる、名人・左甚五郎の苦心談「千人坊主」と、ひ弱な若侍が知恵と度胸で悪を討つ「破れ太鼓」の2席は、痛快無比の面白さ。近年、若手の台頭で盛り上がる浪曲界を象徴する力演だった。
	(関西参加公演の部) はやしや そめじ 林家 染二	「はやしやそめじどくえんかい 林家染二独演会」における「なかむらなかぞう 中村仲蔵」の成果	いつもの熱量あふれる爆笑型から軸を移し、夫婦と師弟の絆に力点を置いた「中村仲蔵」の一席。不遇な配役をされて落胆する仲蔵の背をそと押しして励ます妻のセリフに情熱があふれ、役柄のヒントを得て舞台成就までの筋運びに持ち前の強い声が生きてこの物語を描き切った。上方の香りを乗せたハメモノと浄瑠璃の演出も成功、力量の高さを示した。
優秀賞	(関東参加公演の部) かつら たけまる 桂 竹丸	「かつらたけまる らくごかい 桂 竹丸 落語会」の成果	2席のうちトリで演じた「明智光秀」は、主君織田信長を討った武将を軸に戦国の乱世をギャグ満載で語る地噺だ。歴史への批評的な視点を巧みに織り交ぜながらの、軽快な語り口が心地いい。高座を重ねて練り上げてきた噺に完成度の高さが認められた。新作落語の爆笑派として着実に安定感を増し、無比の世界を築いている。
	(関西参加公演の部) つきてい ぶんと 月亭 文都	「だいい かいつきていぶんとどくえんかい 第24回月亭文都独演会」の成果	「月宮殿星都」「帯久」そして新作「戯作者の恋」という趣向の異なる三席を丁寧に演じ分け、ネタの構成と巧みな話術ともに圧倒的な完成度を示して観客を魅了した。とりわけ善人の泉屋と兵衛に重点を置いた「帯久」は、演者の人間性を表わすかのように心あたたま人情噺に仕立て上げて、古典落語のさらなる可能性を示した点においても見事だった。
新人賞	(関東参加公演の部) さわ ゆきえ 澤 雪絵	「Soul of なにわぶし さわゆきえ かい 浪花節 澤雪絵の会」の成果	廣澤菊春から澤孝子そして、澤雪絵へ～との副題に沿い、菊春ゆかりの「姿三四郎恋暦」、師匠・澤孝子の助演を挟み、師から継承の「春日局」を朗々と口演した。邦楽向けの会場の選択も効果的で、ベテランの曲師の三味線でも、寄席と一味違う空間を作った企画性が功を奏した。一方で、声質を磨き聴かせるだけでなく、心への響きがもう一つ欲しいという審査会での評があったことを加える。今後の目標として奨励の意を持ったの贈賞である。
	(関西参加公演の部) しょうふくてい きょうすけ 笑福亭 喬介	「おたから きょうすけ 喬介」の成果	入門16年目にして初の自主開催の独演会で、大師匠の故・六代目笑福亭松喬、師匠の七代目笑福亭松喬から受け継いだ「牛ほめ」「佐々木裁き」「へっつい幽霊」の3席を選び、入れ事を加えず演じる姿勢を貫きつつ、喬介らしい突き抜けた明るさなどを随所ににじませて好演を見せた。日頃の研鑽が大いに感じられる高座で、一層の成長が期待される。

## 令和2年度(第75回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

## テレビ・ドラマ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	日本放送協会	スペシャルドラマ「ストレンジャー～上海の芥川龍之介～」	芥川龍之介が見た百年前の中国という歴史的でユニークな視座に作り手の志を感じる。静謐に人物を凝視する加藤拓の演出、8K技術をもって厚みのある類廃美を表現した北信康の撮影、芥川の紀行文をもとに洒脱な断章の物語を構想した渡辺あやの脚本、飄々と芥川を演ずる松田龍平の演技などスタッフ、キャストの技術が高度な調和を果たした。
優秀賞	株式会社CBCテレビ	「スナイパー時村正義の働き方改革」	コロナ禍の本年は「制約」というものから芸術が生まれることを改めて考えさせられたが、本作はコロナ禍とは関係なく「制約」を自らに課す。場所は一箇所、登場人物二人、出道具はスコープ付狙撃銃とノートパソコンだけ。それで巨大な予算と人を投入した大アクション場面を視聴者に想像させる。脚本・演出の知恵と腕に感服させられた。
	関西テレビ放送	U-NEXT presents「あと3回、君に会える」	ふだん意識せずに過ごしていても、家族や知人との別れは突然訪れることがある。もし、一生涯にあと何回会える前もってわかっていれば、その人との時間をどのように過ごすか、会える回数が背中に浮かび上がるとの設定はSF的だが、登場人物の心情変化を丁寧に描くことで、人と人の出会いの意味を考えさせられるドラマだった。
	日本放送協会	「完本 怪談牡丹燈籠」	三遊亭圓朝が作り上げた陰鬱な世界が見事に映像化された。神田松之丞(現在は伯山)の語りで見入る人を一気に引き込み、愛憎と欲望に満ちた人間の業をまざまざと見せつける。VFXなどの映像技術、音楽、音響も怪談の再現に効果を上げ、全体的な完成度が非常に高い。上質なドラマならではの充足感を与えてくれる秀作である。

## テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	かぶしきがいしゃにいがたほうそう 株式会社新潟放送	BSNスペシャル「 <small>げいじゆつ</small> 芸術の価値 <small>ぶようか</small> 舞踊家金森 <small>ねん</small> 穰16年の闘い」	新潟市民芸術文化会館専属の個性豊かでパワフルなダンス集団「Noism(ノイズム)」を率いる世界トップクラスの振付家・金森穰の活動を追いかけた。文化支援の社会的意義と行政の関わり方を問いかける。芸術家たちは地域にどのような貢献をすべきなのか、金森の試練は続く。「芸術」が目に見えない大きな力を与えてくれることを信じ、応援したい。
優秀賞	かんさいほうそう 関西テレビ放送	「ザ・ドキュメント <small>まげ</small> 裁かれる正義 <small>けんしやう</small> 検証・ <small>こしょうこうぐん</small> 揺さぶられっ子症候群」	乳児の孫を虐待死させたとして懲役5年6か月を受けた67歳の女性が、無罪を勝ち取るまでを追う執念のドキュメンタリー。有罪の決め手は虐待専門医の証言による「揺さぶられっ子症候群(SBS)」。しかし別の疾患の可能性を指摘する内外の脳 <small>の</small> 専門医の証言を得て、控訴審で覆す。弁護士、家族と共に死因に疑問を持ち、真相を追い続けた報道の役割も考えさせる力作。
	にっぽんほうそうきょうかい 日本放送協会	BS1スペシャル「レバノンからのSOS ～コロナ禍 <small>なにかん</small> 追いつめられるシリア難民～」	悲惨な実態は想像をはるかに超え、見る者を圧した。背景を明解に説明した後、カメラはテントの中に入り込み、臓器売買の目的で兄を誘拐・殺害された少女などに密着する。被取材者への肉薄ぶりが見事だ。貧困、差別と排斥、DVなど負の連鎖は、弱い方に皺寄せがいく。コロナ禍に見舞われた今年の縮図とも言え、その究極の姿を訴えた。
	にっぽんほうそうきょうかい 日本放送協会	NHKスペシャル「 <small>ししや</small> アウシュビッツ <small>こくはく</small> 死者たちの告白」	ナチス・ドイツ最大の殺戮施設アウシュビッツ強制収容所。そこにユダヤ人特殊部隊「ゾンダーコマンド」がいた事は、あまり知られていない。収容所跡の地中から見つかった瓶や箱に入っていた“謎のメモ”。最新デジタル技術によって解読が進む“謎のメモ”を元に、「ゾンダーコマンド」の葛藤や苦悩そしてその後に出た秀作である。



## ラジオ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(ドキュメンタリーの部) 南海放送株式会社 なんかいほうそうかほしきがいしや	「感染 - 正義とは何か -」 かんせん せいぎ	新型コロナウイルス感染拡大で、感染への恐怖から根拠のない誹謗中傷や差別も拡大していった。感染者への困難な取材を通して、正義の名の下での差別の酷さを見事に描き出した。四国「お遍路」と感染症の関わりを歴史的にたどることで、現在の横軸と歴史の縦軸を交差させる画期的なラジオ番組であり、ラジオ史に残る最高傑作。
優秀賞	(ドラマの部) 株式会社エフエム東京 かほしきがいしや とうきょう	「TOKYO FM特別番組 Positive ~ コロナとホテルとラインチャット ~」 とくべつばんぐみ	コロナの陽性(Positive)経験をココロのPositiveに変容させる試みに挑戦した番組。隔離ホテル内のLINEで交わされる会話を軸に、当事者だけが知り得る様々な葛藤のディテールを如実に描き、軽やかな手法で課題を投げかける。制作者の実体験に基づいた素直な演出が功を奏し、若者への訴求も期待できる、時代を映し出す秀作である。
	(ドラマの部) 日本放送協会 にっぽんほうそうきょうかい	FMシアター「ほぞ」	明治時代を背景に、若年性認知症になった指物師 基一と、その妻タエの夫婦物語。タイトルの[ほぞ]とは、板と板をつなぐ凸凹のこと。寄り添う夫婦をほぞに見立てた脚本だが、「妻が良い人過ぎるのでは？」等の意見は出たものの、主演の和田正人・伊藤歩の演技に目を見張るものがあり、ラストが心迫り、今回の受賞となった。
	(ドキュメンタリーの部) 日本放送協会 にっぽんほうそうきょうかい	ラジオ特集「虐待された少女たちの“その後”」 とくしゅう きゃくたい しょうじょ	コロナ禍、家庭が必ずしも子どもの安心できる場所ではないことが社会問題として認識された。親に殴られる日常が「普通」だった少女が語る現実、聞き手がうろたえるほどに壮絶だ。少女を中心に周囲の状況を率直に丁寧に描いている。このような問題提起が今後も継続して行われることへの期待も込められた高い評価である。

## レコード部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	こうえきざいだんほうじん 公益財団法人 にほんでんとうぶんかしんこうざいだん 日本伝統文化振興財団	ゆきすみ YUKISUMI / ふじもとあきこ 藤本昭子 きたうまさひこ 佐藤允彦	地歌箏曲とピアノという異次元の組合せでありながら、綿密な計算と両者の豊かな感性によって新たな世界を見事に提示した。「手付」ともいえる佐藤充彦の優れたピアノパートの作曲とそれに呼応する録音、そこに藤本昭子の確かな歌と効果的に控えられた三弦という足し算と引き算の妙によって、ゆるぎない地歌の真髄を際立たせることに成功している。
優秀賞	かぶしきがいしゃ 株式会社ヤマハミュージック コミュニケーションズ	「バッハ・シーケンス / すがわのぶや 須川展也」	サクソフォンという19世紀半ばに開発された「後発楽器」は、バロックからロマン派の傑作の宝庫を横目で睨むしかなかった。須川展也はバッハの畢生の傑作「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ」3曲に挑み、この楽器の新しい地平を開拓した。超絶技巧に驚くと共に、バッハの偉大さ、そしてそれを演奏する須川の喜びが溢れた1枚。
	ゆうげんがいしゃ 有限会社コジマ録音	「アイヴズ: ヴァイオリンとピアノのための4つのソナタ / ROSCO」	アメリカ合衆国の近代を代表し、ヨーロッパ的な形式感に厳格に縛られることなく、国の風土や生活感を感じさせながら自由奔放に創作した作曲家の全4曲のヴァイオリン・ソナタを、ヴァイオリン、ピアノともに強い表現意志を保ちながら緻密なアンサンブルで演奏。各曲の構造や楽想の面白みをあらためて発見させてくれる録音である。
	やまだ がく 山田 岳	「melodia」	アコースティック・ギターとエレクトリック・ギターをどちらも弾きこなす山田岳が、水先案内人としての力量を存分に発揮したアルバムである。現代音楽の複合的な様相を、鋭敏な感性のアンテナで捉えた選曲が新鮮で、混濁した音群やノイズを交えた類稀な音響世界を確かな技術で伝える。思わず聴き入ってしまう一枚だ。